

謎の生命体発見？

飲みかけペットボトルの恐怖



7月7日（水）午後、数学の**増田先生**から生物準備室に「**謎の生命体**」らしきものが持ち込まれた。「**マット**が職員室の冷蔵庫の中で見つけた」というのである。直径5センチ程度の**黒っぽいゼリー状の固まり**が2つ。しかも表面には無数の気泡が付着している。ペットボトルの飲み口の口径と比較すると、ここから入れたとは考えにくい。ペットボトルの中で、ここまで成長したと考えるのが自然である。これはやはり生命体なのか。あるいは、お茶の成分が変成したような自然現象なのであろうか。

近くにいた生徒は、「これは**マリモ**じゃないですか？」「中に内臓があるのかな」「もし、これが新種の生物だとすると、**マット**の名前が付くんですか？」など、初めて見る物体に驚きと興奮を隠せない様子である。しかし、まず、これはマリモではないことは明らかである。マリモは緑藻の一種なので、暗い冷蔵庫内で成長することは不可能だからである。可能性としては、口が開いていた時に外部から細菌類や孢子などが混入し、それがお茶の栄養分を使って成長したことが考えられる。それにしてもこんなに大きく成長するものなのか？

こうした**謎を解明する手がかりは？** おそらく、これと似たような現象がネット上で報告されているはずである。まず、「**ペットボトル 異物 固まり**」で検索してみると、それらしい事例がひっかかった。東京都健康安全研究センターの苦情相談事例「ペットボトル飲料に異物が混入」である。飲みかけのペットボトル（1週間経過）内の「固まり」は、入り込んだカビが増殖したものであったそうだ。さらに、「ペットボトル カビ」で検索すると、かなり多くの事例がある。例えば、1998年には「桃の天然水」、今年の5月には「ボルヴィック」の製造時にカビが混入したため回収されている。また、社団法人**全国清涼飲料工業会**のホームページには、次のような記載があった。「ペットボトル飲料を開封すると、空気中から雑菌が入ったり、直接、口飲みした場合は、口の中にいる雑菌が入ります。それを放置しておくと、ペットボトルの中の飲料中で雑菌が増殖します。」雑菌の種類としては、カビ、細菌、酵母があり、カビは栄養分が少なくても増殖するため、比較的茶系飲料で増殖が見られるそうだ。

謎の生命体の正体はカビである可能性が高まったが、このお茶を飲むことは明らかに危険である。夏場のペットボトル飲料の飲み残しには、注意した方がよさそうだ。